

令和3年度 宇都宮市立上河内東小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤として、「心の教育」の充実を図り、社会の変化に対応できる徳・体・知の調和のとれた、心身ともに健康で創造力に富む、人間性豊かな児童を育成する。

(2) 具体目標

○仲良く助け合う子（やさしく） ○がまん強くやりぬく子（つよく） ○よく考え進んで学ぶ子（かしこく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

目指す学校像「楽しくいきいきした学校・やさしさのあふれる学校」を達成させるために

児童一人一人が意欲をもって精一杯活躍し、達成感や満足感を十分感じながら豊かな人間力を磨くことが出来る魅力ある学校を全職員で創造していくとともに、保護者や地域の協働のもと学校の教育力の活性化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

人間力の基盤となる「豊かな心」「健康な体」「確かな学力」を達成させるために

(1) 豊かな環境、保護者や地域の教育力や全職員の創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進し、魅力ある学校づくり、持続可能な学校づくりを目指す。

(2) コミュニケーション能力を高め、望ましい人間関係を構築する。思いやりの心や規範意識を高め、人とよりよくかかわりながら活動する環境づくりを行う。

(3) 自ら健康・安全を考え実践する能力を育成する。生涯にわたって健康・安全な生活ができるよう、積極的に体づくりや食育を推進する。

(4) 確かな学力の向上を図る。主体的・対話的で深い学びを実現する授業の工夫・改善を重ねることにより、基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育む学びに向かう集団作りに努める。

(5) 特別支援教育を踏まえた児童理解や学級経営に努める。

○(6) 小中一貫教育を生かした教育計画の工夫・実践と上河内地域学校園構想と連携した教育活動の実践に努める。

(7) 教育公務員としての使命を自覚し、協働・同僚性を大切にしながら、教職員としての資質・能力の向上を図るとともに勤務時間を意識した業務改善を推進する。

[上河内地域学校園教育ビジョン]

かしこく、たくましいゆずっ子の育成

～基本を身につけ、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう～

4 教育課程編成の方針

(1) 各教科（特別の教科道徳を含む）、外国語活動（外国語科）、特別活動、総合的な学習の時間の教育課程表及び年間指導計画を編成するにあたっては日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則・小学校新学習指導要領・栃木県教育委員会の指導指針並びに宇都宮市学校教育の重点の示すところに従い、学習指導要領を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、特色ある教育課程を編成する。

(2) 「うつのみや“いきいき学校”プラン」「宇都宮市学校教育スタンダード」「うつのみや元気っ子プロジェクト」における目標を具現化し、豊かな人間力を磨くために、目指す児童の姿とそれを実現するための学校教育のあり方や具体的方策を明らかにした教育課程を編成する。

(3) 「小中一貫教育」の趣旨を理解するとともに、地域学校園内で連携をとりながら、地域の実情や学校の実態を踏まえた教育課程が編成できるように配慮する。

(4) 学校教育目標の具現化を図るため、学校経営方針や努力点・学校課題などを踏まえるとともに、前年度の学校マネジメントの評価・教育課程実施の反省（学校自己評価）・児童や地域の実態を十分に考慮して編成する。

(5) 小学校新学習指導要領の趣旨を十分理解するとともに、教育活動全般にわたって徳・体・知の調和のとれた、思いやりあふれる豊かな心と自ら学び自ら考える「生きる力」を育むことを目指して「主体的・対話的で深い学び」が実現できる編成を行う。

(6) 児童が明るく楽しく生き生きと取り組める特色ある学校づくりを目指し、3あい運動との関連を図りながら、異年齢集団による交流活動や教師と児童による主体的活動の推進と、意図的・計画的な実践化が図れる教育課程の編成に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>【 学 校 運 営 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強さと事故調勢力を兼ね備えた豊かな心と確かな学力の調和の取れた育成を目指し、教職員が勤務時間を意識しつつ、協調性と同僚性を大切にしながら互いに高め合える学校経営の推進 <p>【 学 習 指 導 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、生き生きと学び合う児童の育成 ～主体的・対話的な学習の推進を目指して～ <p>○小中一貫教育カリキュラムの推進や地域学校園としての学習ルール作成</p> <p>【 児 童 生 徒 指 導 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立って考え、人とよりよくなかかわることができる児童の育成 <p>○基本的な生活習慣を身に付け、きまりを守って行動する児童の育成</p> <p>【健康（体力・保健・食・安全）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで体力の向上と健康の保持増進に取り組み、目標に向かって努力する児童の育成 ・ICTの有効活用による、教育活動の充実
--

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 児 童 の	<p>A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員・保護者 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答85%以上 ⇒教職員・保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 授業の中に、効果的に話し合い活動を設定し、協働的な学習活動をととして学習のねらいが深まるように工夫する。</p> <p>② 自分の意見を持ち、表現する力を身に付けさせるために、児童が全体の前でスピーチしたり、考えたことを書いたりする機会を意図的に設定する。</p> <p>③ 児童が主体的に学習に取り組めるよう、授業のめあてを理解し、見通しをもって学習を進め、振り返りで身に付いたことを確認できるような授業の実践に努める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童 97.7% 保護者 90.4% 教職員 100% <p>指標を達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校課題では、ねらいや振り返りを明確にした授業の実践をICT活用の研究においても実践し、児童が意欲的に学習し、学びが実感できるよう、授業力の向上を図ることができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の取り組みを継続して行うとともに、話す・聞くスキルや説明する力も向上するよう意図的に場を設定して取り組んでいく。
	<p>A2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員・保護者・地域 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 思いやりや助け合いの心を育てられるように、考え、議論する道徳教育の充実に努める。</p> <p>② 心が豊かになる読書活動の充実に努める。</p> <p>③ 人権教育を推進する。 ・人権標語の募集・掲示など人権週間の取組の工夫 ・児童集会の実施 ・いじめゼロ月間の取組</p> <p>④ 学級活動の内容を工夫する。 ・エンカウンターなど人間関係づくりのスキルの実践 ・集会活動の工夫・実践</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童 94% 保護者 94.7% 地域 100% 教職員 100% <p>指標を達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①、④授業の実践ができた。 ・②朝の学習や各教科内で、読書活動の充実に努めることができた。 ・③人権について意識して行動している児童の姿が多く見られ、集会の内容なども充実していた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大多数の児童は、思いやりの気持ちが育ってきている。一部の児童への指導・支援を、全職員共通理解のもとに取り組んでいく。 ・①②③④を継続して行う。

目 指 す 児	<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・保護者 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、宮・未来キャリアパスポートを活用しながら、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や、望ましい勤労観や職業観を、全教育活動を通して意図的・計画的に育む。</p> <p>② 各学年で育てた作物を紹介する「収穫を祝う会」を実施し、児童の自主性や社会性を育成する。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 97.7% 保護者 88.9% 指標を達成した。 ・①学級活動を中心に自らの良さに目を向けさせ、宮・未来キャリアパスポートの活用を図った。 ・②学校農園や水田で育てた作物を使って地域・学校が協力して収穫を祝う会を行った。</p> <p>【次年度の方針】 ・①②を継続して行う。</p>
	<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 外国語活動(英語活動)を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。</p> <p>② 児童会主催のあいさつ週間や水曜日の朝の会で英語のあいさつをする機会を設け、児童が日常生活に英語を使う場を設定してコミュニケーション意欲の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 94% 教職員 88.9% 指標を達成した。 ・水曜日に校内放送を英語で行う取り組みや、朝の会などで意識して英語を使う機会を設けるようにしたことが日常生活で気軽に英語に親しむ場になっている。また、放送委員の英語の放送もコミュニケーション意欲の向上に寄与している。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の取り組みを継続する。</p>
	<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 生活科、社会科や総合的な学習の時間における宇都宮学の授業、市内や地域での校外学習等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。</p> <p>② 教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深められるよう努める。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 91% 指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童は、上河内地域への愛着を持っているので、宇都宮学を実践しながら上河内地域のよさから、より視野を広げ宇都宮の良さに気付ける指導を行う。</p>
	<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒ 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にICT機器を活用する。</p> <p>② 授業内容との関連に配慮した教育図書や図書の整備充実や学校図書館の環境整備に努める。</p> <p>③ 各教科の学習活動に図書や新聞を活用する機会を意図的に設定し、活用能力の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答児童 96.2% 教職員 100% 指標を上回った。 ・一人一台タブレットの活用とともに、授業では、デジタル教科書や実物投影機の活用がなされている。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の取り組みを継続するとともに、学校の取り組みを各種便り等で保護者にも紹介する。 ・タブレットの効果的な活用についての研修を進める。</p>

<p>童 の 姿</p>	<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわり の心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、誰に対しても思 いやりの心をもっている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 体験活動と関連を図った道徳科の 授業を実施し、生命や人権を尊重する 心や、人を思いやる心などを育てる。 【A2①再掲】 ② 人権教育年間指導計画に基づき、全 教育活動を通して人権教育を計画的 に実施する。 【A2②再掲】 ③ 学校行事や各教科の授業等におい て、地域の方や高齢者と交流する機会 を設け、感謝や相手を思いやる心を育 む。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・ 肯定的回答 児童 94% 教職員 100% 指標を上回った。 ・ ①授業を実践できた。 ・ ②全教育年間指導計画に基づき、人権教育 を計画的に実施することができた。 ・ ③学校行事や授業等において、地域の方や 高齢者と交流する機会を設けることがで き、児童の意識も高まった。 【次年度の方針】 ・ ①②③を継続して行う。</p>
<p>目 指 す</p>	<p>A12 児童は、「持続可能 な社会」について、関 心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、環境問題や防災 等の「持続可能な社会」に ついて、関心をもってい る。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 総合的な学習の時間における環境 教育や社会科の学習等を通して、環境 問題への関心を高め、環境を大切にし ようとする意識や態度を育成する。 ② 東日本大震災をはじめとした過去 の災害の具体事例等から学ぶ教材を 工夫し、防災教育を充実する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・ 肯定的回答児童 94.7% 教職員 83.3% 児童は指標を上回ったが教職員は指標を 下回った。 ・ ①総合的な学習の時間・家庭科・社会・理 科・生活科・道徳などの各教科で各学年地 球環境についての関心を高める指導を行 い、環境を大切にしようとする態度が育 ってきた。 ・ ②避難訓練の際に、竜巻や洪水など、県内 でも発生した災害を想定したパワーポ イント教材を作成し、指導を行った。 【次年度の方針】 ・ ①②を継続して行う。</p>
<p>児 童 の 姿</p>	<p>OB1 児童は、正しい言 葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員・保護者・地域 「児童は、時と場に応じた 言葉づかいをしている」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 思いやりの心をもって友達を「さん 付け」で呼ぶよう指導したり、生活目 標に設定したりして、児童の意識化を 図る。 ② 相手の気持ちを考えた言葉づかい ができるよう道徳や学級活動での授 業を実践する。また、学校・学年だよ りなどを活用して、家庭の協力を依頼 する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・ 肯定的回答 児童 94% 教職員 88.9% 保護者 87% 地域 100% 指標を達成した。 ・ ①いじめゼロ月間・人権週間などの機会に 言葉遣いを意識させることができた。 ・ ①授業中などの場で「～さん」の呼び方が できる児童は多くなっているが、休み時 間などには友達の名前を呼び捨てで呼ぶ 児童もいた。 ・ ②思いやり・親切、言葉づかいについて の授業を実践することができた。 【次年度の方針】 ・ ①②を継続して行う。</p>
	<p>B2 児童は、毎日、早寝・ 早起きができています。 【数値指標】 全体アンケート 児童「私は、早寝・早起き をしている」 ⇒肯定的回答80%以上 保護者 「学校は、保護者と連携し て規則正しい生活習慣の 形成に努めている」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校だよりや保健だより、学年だよ り、PTA学年部会などを通して、保 護者に啓発する。 ② 年2回の生活習慣チェックの結果 から見られた課題を踏まえて、養護教 諭が保健指導を実施する。児童の自己 管理能力を高めるとともに、家庭と連 携した早寝・早起きの意識付けと生活 習慣の定着を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・ 肯定的回答 児童 78.2% 保護者 90.8% 児童は指標を下回ったが、保護者は上回 った。 ・ ①各種便りを通して児童・保護者の意識向 上を図った。 ・ ②年2回、生活習慣チェックを実施し、家 庭と連携して児童の生活習慣の形成に努 めた。 ・ ②の結果を踏まえて、養護教諭が各学年に 保健指導を実施した。 【次年度の方針】 ・ ①②を今後も継続して行うとともに、家庭 との連携に力を入れていく。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>② 特別支援学級の児童はもとより、通常学級においても、必要に応じて個別の支援計画の作成し、それに基づく合理的な配慮を伴う指導に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肯定的回答 教職員 100% 指標を達成した。 ・ 特別支援学級の児童とともに、通常学級においても、合理的な配慮に伴う指導を行うことができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①②を今後も継続して行う。
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒肯定的回答90%以上 教職員・保護者・地域 「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① いじめ等対策委員会を設置し、定期的な情報共有、組織的な対応に努める。</p> <p>② 児童に対し思いやりや助け合いの心を育て、いじめの未然防止に努める。</p> <p>③ いじめの実態把握、早期発見・対応のため、生活アンケートや定期教育相談を年2回実施する。</p> <p>④ いじめを認識した際は、正確に事実確認を行い、いじめを行った児童に対しては毅然とした指導を行う。</p> <p>⑤ いじめを受けた児童の安全確保と、保護者を含め親身な支援を行う。</p> <p>⑥ 学年だより、学校だよりなどで、いじめ対策を保護者にPRする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肯定的回答 児童 99.2%・教職員 100% 保護者 82.9% 地域 100% 指標を上回った。 ・ 学校ではいじめの予防に努めるとともに、児童からの訴えには早急に対応し対処した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全教育活動を通して、様々な手立てを講じいじめを発生させないようにする。また、相手を傷つける言動に対して毅然とした態度で指導をする。 ・ いじめに対しての学校としての方針や取り組みについて、保護者に対しての説明やPRにも力を入れる。 ・ ①②③④⑤について継続して行う。
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合う場をつくってくれている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 【A5①再掲】</p> <p>② 教育相談、Q-Uアンケート等の結果を活用し不応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童に係る校内全体の情報共有を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肯定的回答 児童 99.2% 指標を上回っている。 ・ 学校では、児童の自己肯定感を高め、居がいのある学級づくりに努めた。また、教育相談を充実させたり、Q-Uアンケート等の結果を活用して、児童指導に取り組んだりすることができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の自己肯定感を高められるような学級経営に取り組むことで、不登校の発生を未然に防ぐようにする。また、不登校の早期発見に努める。 ・ ①②について継続して行う。
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 外国人児童等について全校で共通理解を図り、必要な支援やニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>② 児童が、互いの国籍や文化の違い等認め合い尊重しながら生活できるよう、日常的な指導に努める。</p> <p>③ 特別な支援を必要とする児童の教育的ニーズを把握し、その力を高められるよう適切な指導や必要な支援を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肯定的回答 教職員 100% 指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①外国人児童を迎える際には、必要な支援を把握し、情報を共有していく。 ・ ②外国語活動や道徳などの学習の機会を捉えて、文化の違いなどを認め合える素地を養っていく。 ・ ③特別な支援を必要とする児童への指導・支援にも引き続き取り組んでいく。

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「私は、今の学校が好きです」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 児童の創意を取り入れた主体的活動が展開できるよう、学校行事・児童会活動・縦割り班活動などの活動内容を工夫する。</p> <p>② 各担任は、Q-Uアンケートの結果分析をするとともに、事例研究会等を実施し、児童一人一人が存在感のある学級経営を実践するための研修を行う。</p>	<p>【達成状況】 ・ 肯定的回答 児童 94.7% 指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・ ①の諸活動について、積極的に参加する児童の姿が見られたので継続し、さらに活動内容を工夫していく。</p> <p>・ ②Q-Uアンケートの結果を分析し学級経営に生かすとともにSCとも連携していく。また、各学級の特色ある学級づくりに関する情報交換をしていく。</p>
	<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒肯定的回答85%以上 保護者 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① ねらいを明確にし、教材教具を効果的に活用しながら、振り返りで学びが実感できるような授業の実践を工夫するとともに授業力の向上に努める。</p> <p>② 授業やT・T、習熟度別学習で児童のつまずきの把握に努め、朝の学習や個別指導の充実を図りながら基礎基本の定着を図る。</p> <p>③ 身に付けさせる基礎・基本をおさえてつまずきをなくし、分かる授業を展開する。</p>	<p>【達成状況】 ・ 肯定的回答 児童 100% 保護者 91.8% 指標を達成した。</p> <p>・ 各教科において、ねらいや振り返りを意識した授業実践を継続し、基本の定着に向けた取り組みを継続してきた。</p> <p>【次年度の方針】 ・ ①②③を継続して行う。</p> <p>・ ③については、T・Tやかがやきルームの効果的活用、朝の学習時の複数教員による指導の実践などにより、児童の学力の引き上げを工夫する。</p>
	<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 打合せ等により、全教職員が定期的に情報を共有し、具体的な方策を検討し実践する。</p> <p>② 学校行事等に、全教職員が個性や能力を生かして共に活動することにより、協働意識を高める。</p>	<p>【達成状況】 ・ 肯定的回答 教職員 100% 指標を達成した。</p> <p>・ 小規模校のよさを活かし、情報共有をすることで、チームとして取り組むことができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・ ①②を継続して行う。</p> <p>・ 気軽に何でも話せる雰囲気づくりに努め、様々な情報を共有することで、互いに助け合える環境づくりを行う。</p>
	<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校の働き方改革の視点に立って教職員一人一人が、勤務時間を意識するとともに、チームを効果的に活用して業務改善を図る。</p> <p>② 教職員の負担軽減に向け、学校の組織運営の改善や、各種行事等の実施方法の改善を行う。</p> <p>③ 学習情報システムをはじめとした各種システムを効果的に活用し、業務を効率的に進める。</p>	<p>【達成状況】 ・ 肯定的回答 教職員 100% 指標を達成した。</p> <p>・ 行事等ごとに行った振り返りを活かして、改善を図ることができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・ ①ミラタイムで出退勤管理を行い、各自勤務時間の目標をもって業務に取り組むようにする。</p> <p>・ ②学校行事に関するアンケートを取り、効果的な運営ができるよう改善していく。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 ⇒肯定的回答80%以上 保護者 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 乗り入れ授業の実施により、それぞれの学校種の教職員の相互理解を深める。</p> <p>② 「小中一貫の日」などの研修を活用し、地域学校園の子どもの実態や学校と地域の実態を踏まえた共通の教育活動を工夫する。(あいさつ運動)</p> <p>③ 義務教育9年間の系統的な指導を見据えて、中学校においても継続的な指導が図れるよう、児童の引継ぎを密に行う。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 90.5% 保護者 88.2% 指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童生徒指導強化連絡会等を活用して、配慮が必要な児童に対する支援方法等について情報提供と共通理解に努める。 ・乗り入れ授業やあいさつ運動は地域学校園の活動として定着しているのので、市の方針に従い、通常の活動としてスリム化を図る。</p>	C
	<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 保護者・地域 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 地域協議会を定期的に開催し、学校経営方針への保護者、地域住民の意見反映や、学校関係者評価の実施などを行う。</p> <p>② 学校だよりや学年だより、ホームページ、授業参観等を通して、学校の情報を積極的に発信し、地域ボランティアや保護者に学校行事や授業への支援などへの協力・参画を得ていく。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 保護者 94.3% 地域住民 100% 指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・①地域協議会で学校の経営方針等を説明し、学校教育への理解や協力を深めていく。 ・②学校だよりや学年だより、ホームページ等を通して、学校の情報を積極的に発信し、地域ボランティアや保護者に、学校行事や授業への参画・協力を得ていく。</p>	B
	<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 ⇒肯定的回答85%以上 保護者・地域 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 外部講師による出前授業や、学習支援ボランティアを活用した授業を積極的に取り入れる。</p> <p>② 地域協議会の協力や地域の教育力を取り入れた体験的な活動を積極的に取り入れる。 ・野菜や米作りなどの農作業 ・社会科の地域学習など</p> <p>③ 生活科や総合的な学習の時間等で地域ボランティアを活用した学習を進められるよう計画を検討していく。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 97% 保護者 94.3% 地域 100% 指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・①命の授業、薬物乱用防止教室、ふれあい文化教室などを次年度も積極的に取り入れる。本物から学ぶ機会を計画する。 ・②地域のいちご農家の見学などを積極的に取り入れ、地域と連携を図った教育活動を充実させる。 ・地域人材や教材を活用して学習を進めることができたので、生活科や総合的な学習の時間を中心として、拡充しながら定着を図っていく。</p>	A

指 す 学 校 の 姿	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員・保護者 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 毎月、各教室、特別教室、廊下、体育館等を、チェック項目に基づく安全点検を実施し、危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。</p> <p>② 危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。</p> <p>③ 熱中症予防対策、新型コロナウイルス感染予防対策、インフルエンザ蔓延予防対策など、時期に応じた保健指導管理に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 教職員 94.4%保護者 94.8% 指標を達成した。 ・①②③について適切に計画し、実施している。特に感染症対策について重点的に取り組み、保健指導・管理に努めた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①②③を継続して行う。 ・常に情報収集に努め、状況に応じて関係者で協議して、適切に対応できるようにしていく。
	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>①児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にICT機器を活用する。【A10①再掲】</p> <p>② 授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実や、学校図書館の環境整備に努める。【A10②再掲】</p> <p>③ 読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童 96.2%教職員 100% 指標を上回った。 ・一人一台タブレットの活用とともに、授業では、デジタル教科書や実物投影機の活用がなされている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の取り組みを継続するとともに、学校の取り組みを各種便り等で保護者にも紹介する。
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	<p>B3 児童は、縦割り班活動を仲良く行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、東っ子クラブの活動で、仲良く協力している。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 東っ子クラブによる集団遊びを実践し、異学年交流を進めながら仲良く遊べるようにする。</p> <p>② 清掃や集会活動を縦割り班で実施し、協力して仕事や活動ができるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童 97.7% 教職員 100% 指標を上回った。 ・①縦割り班を使った清掃や集会活動において、協力して活動できた。また、集団遊びの実施やスポーツタイムの縄跳び練習では、仲よく遊んだり下級生に優しく接したりする姿が見られた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班活動を通した異学年触れ合う機会を確保する。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

本校では、学校教育目標の具現化に向け、「やってみよう・続けてみよう・最後まで あいさつ・音読・タブレット」を合言葉に教育活動の充実を図ってきた。今年度は全体アンケートのWebによる回答が始まったが、保護者・地域住民の肯定的回答が向上したものが多くことから、感染症対策をしながら学校において実施できる活動が増え、児童が新しい生活様式に適応しながら楽しく生活できたことや保護者や地域の方が温かく見守ってくださったことがうかがえる。

学校マネジメント全体アンケートの結果で、肯定的回答の割合が昨年度より増加した項目は「児童生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している」「児童生徒は、宇都宮の良さを知っている」「児童生徒は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」である。ICT教育に関する校内研修やICT支援員を活用したタブレットを使った学習の充実、地域の方々の学習への協力、各種カードを使って目標を明確にした活動への取組等の成果と思われる。

一方で課題となる項目としては「児童生徒は、きまりやマナーを守って生活している」がある。コロナ禍のため児童が室内で過ごすことも多く、落ち着かない生活になったと考えられる。「よいこの1日」や月の生活目標を振り返る機会をもつことで、児童自身に各自の行動について考えるように指導してきたが、再度、「よい子の1日」の指導内容について教職員で共通理解を図り、指導していきたい。また、「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」については、小中合同あいさつ運動や中学教員による乗り入れ授業が定着しているので、世の中の動きに合わせて、より効果的な小中一貫の取組を検討していきたい。

7 学校関係者評価

上河内東小地域協議会委員に、学校関係者評価として書面で意見を求めた。その中で以下のような意見が出された。

- ・学校マネジメントの結果が全体的には90%以上となっているのは、先生方の精力的な日々の指導の表れであると感じている。引き続き、教育目標に向かって指導していただければと思う。
- ・あいさつや一時停止をしてくれたドライバーへのお礼等、子供たちの節度ある行いが見られる。
- ・子供たちのきまりを守る姿やマナーの良さは、登下校の際によく見られており、先生方とのコミュニケーションも円滑にしていると思われる。
- ・昨年度はコロナの影響で中止となるが多かったが、今年度は工夫しながら学校行事を行ってくださっているのが子供たちが笑顔で過ごしているのが分かる。コロナ禍でも工夫する術を世の中や大人が示すことが子供たちにも良い影響を与えると思う。
- ・子供たちは、ゲームやSNS、YouTube等に触れる時間が多くなっているため、強めの表現が出てしまうことが多々あるのではないかと。
- ・中学生と共にあいさつ運動ができたことは、大変すばらしく、子供たちにとってもプラスの影響になったと思う。
- ・今後もあいさつ運動を続けてほしい。
- ・地域の方々の協力を得て実施できる様々な活動は、子供たちにとっても地域にとってもとても良いことだと思う。
- ・タブレットは、子供だけで取り組める自主学習ツールとしてとても良いと感じている。
- ・宇都宮の良さは、子供たちに教えるだけでなく保護者にも知ってもらいたい。
- ・発表の場や「ぼかぼかカード」の取組、運動面での目標に対して取り組む気持ちを育むことは、とても大切なことだと思う。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

全体として、市内の小学校の平均と比較しても良い評価をいただくことができた。学校の自己評価や保護者、児童、地域協議会委員の皆様から寄せられた御意見を真摯に受け止め、次年度の方策について検討していく。

【学校運営】

- ・全体的に児童は落ち着いて学校生活を送っており、学校運営が概ね良好に行われていると考えられる。
- ・本校ならではの豊かな環境や地域人材を生かした特色ある教育活動を推進していく。
- ・各種便りや学校ホームページ、授業参観等による情報発信を積極的に行い、地域とともにある学校づくりに努めていく。

【学習指導】

- ・「ねらい」と「振り返り」を明確にした分かる授業を展開するとともに、朝の学習を中心にして基礎基本の定着を図る。
- ・「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うとともにICT機器の有効的な活用を研究し、教員の指導力向上をめざしていく。
- ・「宇都宮学」の授業を通して、郷土への愛情を育めるような指導の工夫をしていく。

【児童生徒指導】

○きまりを守って行動することについて継続的な指導を推進していくとともに、場に応じた言葉づかいについても指導の工夫をしていく。

○地域学校園でのあいさつ運動やあいさつの標語作り等を通して、進んで明るいあいさつができる児童の育成を継続していく。

- ・情報交換の機会を十分確保し、支援を必要とする児童への対応を組織的に推進していけるようにする。

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・感染症に関わる指導を重点的に行うとともに、家庭の協力も得て児童のよりよい生活習慣の形成をめざす。
- ・教育相談やいじめゼロ集会、縦割り班活動等を通して、よりよい人間関係をつくり、充実した学校生活が送れるような支援を行い、いじめ予防に取り組んでいく。